

市議会だより

四万十市

# 議会だより



2018. 6. 1 発行

～ も く じ ～

- 議 案 … 1 ページ
- 一 般 質 問 … 3 ページ
- ◎トピックス … 8 ページ



発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 Tel 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827



# 平成30年3月定例会

四万十市議会3月定例会は、3月2日に開会し、3月20日までの19日間の会期で開催されました。

今期の定例会には「平成29年度補正予算」5件、「平成30年度当初予算」17件、「条例の制定及び一部改正」26件、その他「農業委員会委員の任命」など23件が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、8名が「市長の政治姿勢」、「介護保険制度」、「食肉センター」、「教育行政」などについて質問を行いました。一般質問の詳細は3ページから掲載しています。

| 番号   | 件名                                               | 結果     | 番号 | 件名                                                                                         | 結果     |
|------|--------------------------------------------------|--------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1    | 平成29年度一般会計補正予算(第8号)について                          | 全会一致可決 | 43 | 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例                                                                    | 全会一致可決 |
| 2    | 平成29年度国民健康保険会計事業勘定補正予算(第2号)について                  | 全会一致可決 | 44 | 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例                                                       | 全会一致可決 |
| 3    | 平成29年度国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第4号)について                | 全会一致可決 | 45 | 及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 全会一致可決 |
| 4    | 平成29年度農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について                    | 全会一致可決 | 46 | 地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例                                                    | 全会一致可決 |
| 5    | 平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)について                        | 全会一致可決 | 47 | 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例                 | 全会一致可決 |
| 6    | 平成30年度一般会計予算について                                 | 全会一致可決 | 48 | 道路線の認定                                                                                     | 全会一致認定 |
| 7~20 | 平成30年度特別会計予算について                                 | 全会一致可決 | 49 | 辺地総合整備計画の変更                                                                                | 全会一致可決 |
| 21   | 平成30年度水道事業会計予算について                               | 全会一致可決 | 50 | 農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする事                                                           | 全会一致同意 |
| 22   | 平成30年度病院事業会計予算について                               | 全会一致可決 | 51 | 農業委員会委員の任命(畠中温喜氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 23   | 文化複合施設整備検討委員会設置条例                                | 全会一致可決 | 52 | 農業委員会委員の任命(福留宣彦氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 24   | 新食肉センター整備検討委員会設置条例                               | 全会一致可決 | 53 | 農業委員会委員の任命(尾崎征洋氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 25   | 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例                 | 全会一致可決 | 54 | 農業委員会委員の任命(岡崎 誠氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 26   | 都市再生協議会設置条例                                      | 全会一致可決 | 55 | 農業委員会委員の任命(正木卓夫氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 27   | 四万十川の自然と風景を守り育む条例                                | 全会一致可決 | 56 | 農業委員会委員の任命(新玉年一氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 28   | 行政組織条例の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例                      | 全会一致可決 | 57 | 農業委員会委員の任命(清水優志氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 29   | 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例                         | 全会一致可決 | 58 | 農業委員会委員の任命(土居忠栄氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 30   | 一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例                          | 全会一致可決 | 59 | 農業委員会委員の任命(伊勢脇精蔵氏)                                                                         | 賛成多数同意 |
| 31   | 非常勤特別職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例                   | 全会一致可決 | 60 | 農業委員会委員の任命(芝 順子氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 32   | 職員の退職手当に関する条例及び職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 | 全会一致可決 | 61 | 農業委員会委員の任命(山本 官氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 33   | 税条例の一部を改正する条例                                    | 全会一致可決 | 62 | 農業委員会委員の任命(弘田美和氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 34   | 国民健康保険税条例の一部を改正する条例                              | 全会一致可決 | 63 | 農業委員会委員の任命(遠地美千代氏)                                                                         | 賛成多数同意 |
| 35   | 園芸作物価格安定基金条例の一部を改正する条例                           | 全会一致可決 | 64 | 農業委員会委員の任命(谷崎容子氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 36   | 鉄道経営助成基金条例の一部を改正する条例                             | 全会一致可決 | 65 | 農業委員会委員の任命(安藤久徳氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 37   | 国民健康保険条例の一部を改正する条例                               | 全会一致可決 | 66 | 農業委員会委員の任命(加用雅啓氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 38   | 介護保険条例の一部を改正する条例                                 | 全会一致可決 | 67 | 農業委員会委員の任命(井上靖好氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 39   | 四万十カヌーとキャンプの里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例             | 全会一致可決 | 68 | 農業委員会委員の任命(桑原宏文氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 40   | ふれあいの館設置条例の一部を改正する条例                             | 全会一致可決 | 69 | 農業委員会委員の任命(篠田新生氏)                                                                          | 賛成多数同意 |
| 41   | 都市公園条例の一部を改正する条例<br>公園条例の一部を改正する条例               | 全会一致可決 | 70 | 固定資産評価員の選任(金納聡志氏)                                                                          | 全会一致同意 |
| 42   | 簡易水道設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例                       | 全会一致可決 | 71 | 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例                                                        | 全会一致可決 |

※「四万十市」は省略しています。

# ただここを質す!

## 一般質問

| 質問<br>順位 | 質問者            | 質問要旨                              | 質問掲載<br>ページ |
|----------|----------------|-----------------------------------|-------------|
| 1        | 川村一朗<br>(一問一答) | 1 西土佐診療所の充実 2 橋梁の改修               | 3           |
| 2        | 垣内孝文<br>(一問一答) | 1 市長の政治姿勢                         | 4           |
| 3        | 藤田豊作<br>(一問一答) | 1 市長の政治姿勢 2 食肉センター                | —           |
| 4        | 上岡 正<br>(一問一答) | 1 水道行政 2 八束地区防災拠点施設整備事業           | —           |
| 5        | 松浦 伸<br>(一問一答) | 1 住居対策 2 教育行政<br>3 獣害対策 4 地域活性化事業 | —           |
| 6        | 谷田道子<br>(一問一答) | 1 介護保険制度 2 就学援助制度                 | 5           |
| 7        | 西尾祐佐<br>(一問一答) | 1 保育行政 2 農業振興                     | 6           |
| 8        | 大西友亮<br>(一問一答) | 1 学校統合 2 子育て                      | 7           |

一般質問は3月8日(木)から9日(金)までの2日間行われました。  
※藤田議員、上岡正議員、松浦議員の質問の記事は、今回は掲載しておりません。

### ■平成30年3月定例会議員提出議案

四万十市議会委員会条例の一部を改正する条例 全会一致可決





# \*西土佐診療所医師2名体制は急務! \*生活道である沈下橋や橋梁の改修見通し!

## 西土佐診療所の充実について

**質問** 医師2名体制でないために深刻な状態がある。医師2名体制が急務であるとの認識はあるのか

**答弁** 急務であることは認識しているが、実際に医師がいない。平成31年には赴任予定の医師がいる。

**質問** 12月議会での答弁で特別養護老人ホーム「かわせみ」の利用者について、緊急時には診療所で診ていただけるとの話があったが、実際はできていない。どうしてか。しかも、午後8時を過ぎると死亡診断書も翌日になる。今すぐにも改善すべきだ

**答弁** 「かわせみ」の配置医は中村の病院の医師となっており、配置医から診療所に依頼がないと診療所は診ることができない。「かわせみ」入所の際には職員からそのことを家族等に説明させて頂いている、と聞いている。

**質問** 中山間地で子育てするためには子どもの診療が必要だ。診療所で子ども診療の実施を

**答弁** 高知県下でも特に小児科医が不足している。公的な乳幼児健診も厳しくなっている状況だ。平成31年4月から赴任予定の医師は小児の予防接種についてはできそうだ。



**質問** 高知県知事が地域医療の必要性を重視し、今後地域との連携を強化すると1月に表明している。医師確保についてもっと県に強く要求すべきだ

**答弁** これまでも県とは連携をとってきた。しかし、高知県自体が確保している医師がいないのが現状だ。

## 橋梁の改修について

**質問** 沈下橋改修の進捗状況について

**答弁** 三里と勝間は橋脚内にモルタルを打設し、5月には通行可能予定。岩間橋桁撤去作業が3月末に終了予定だが、その後の計画は未定。口屋内は2020年度内に完成させたい。



岩間沈下橋

**質問** 勝間から三里間のう回路は道幅が狭く日々の生活道としては危険な状態がある

**答弁** う回路については部分改修を実施しているが、必要に応じて地元とも話し合いながら、見直し等も行いたい。

**質問** 再三、議会でも取り上げられている蕨岡の岡本橋の改修、建設はいつまで待てばよいのか

**答弁** 高知県としての河川整備計画が予定通り進んでおらず、具体的な時期についてはお答えすることができない。

**質問** 改修や建設の工事順位決定の判断基準は何か。通行量だけでなく、人が生活する上で欠かせないライフラインとして平等な判断を

**答弁** 社会資本整備としては行政としてやるべき事と、地元の要望によるものがある。中山間地については明確な基準はないが、社会性や産業、災害等ケースバイケースで決定している。



垣内 孝文議員



## 本市の子育て支援策について問う

**質問** 平成30年度から新設する子育て支援課において最も重要な事は何か

**答弁** 子育てに関するニーズは複雑・多様化しており専門的できめ細かな対応が求められる。不安や負担感を軽減し安心して子供を産み育てる環境を充実させる事が最重要の取組と考える。

**質問** 現在描いている子育て支援施策案は

**答弁** 子育ての援助を受けたい人と手助けをしたい人が会員となり、一時的な託児等のマッチングを行うファミリーサポートセンター事業を考えている。市としてはその双方を繋ぐ役目とし30年度で検討。

**質問** 市内在住ママ友グループがボランティアで子育てコミュニティの施設設置に向けて取組を進めているが

**答弁** 子供の居場所作りの取組として本市地域子育て支援センターの役割とは異なる部分があるが、子育て世代の交流の場の確保といった点で共通している為、新設の子育て支援課との連携については精査の必要があると思っている。

**質問** 若い世代の移住定住を図る上で結婚から妊娠、出産、子育てに至るまで切れ目ない支援体制の強化が重要であると考えますが、子育てコミュニティ施設設置、運営についての検討は

**答弁** 一年目を目途に行政に運営を引き継ぐ計画となっているが、コミュニティの場合が特定の商業施設である明確な理由と他事業者に対して納得のいく説明が必要である為、慎重に進めたいと考える。また、一年間は無償ボランティアで運営されると聞いており、市は可能な範囲で後方支援を検討したいと考える。

**質問** 施設運営において子育てコミュニティ施設の見守りスタッフの従事等雇用推進や父母と社会との繋がり等、相乗効果が期待できるが

**答弁** 色々な分野と連携する事で各分野の抱える課題解決への繋がりと相乗効果が期待されるが内容の検証が必要。子育て支援課は子育てに特化した課ではなく、子育てに関する総合窓口として位置づけられている為、相乗効果が期待される関係課との連携については議論を重ねる必要があると考える。

**質問** 消費税10%に増税した際の使途と30年度の厚生労働省子育て支援拠点事業等交付金予算案について把握しているか

**答弁** 議員より提案の内容については、4月に設置する子育て支援課を中心に国や県の制度事業を取り入れるか全庁的、横断的に考えて進めていきたいと

考える。国が数年前から子育て支援に力を入れるようになった等は把握している。本市に役立てていく補助金の申請については直接国なのか、県を通じてなのかを調べた上で早急に対応したい。



カドルファミリーによる子育てひろば「とことこ」のオープン模様



# 介護保険料の負担軽減を求めて 入学準備金・必要な家庭にもれなく

## 介護保険料の負担軽減

**質問** 滞納の主な原因をどのように認識しているのか

**答弁** 制度に対して理解が得られていないこと。低所得で収入が少ないことがあげられる。

**質問** 保険料を滞納した場合、サービスの停止など厳しいペナルティがあるがその内容は

**答弁** 2年以上滞納した場合自己負担額は3割となる。他にも受けられなくなるサービスがある。

**質問** 2年以上滞納になった人が「さかのぼって納めたい」という場合はどうなるか

**答弁** 介護保険料は2年間で時効となるので納めることが出来ない。

**質問** 介護保険の減免制度の内容は

**答弁** 災害により著しい損害を受けた場合、病気や失業等により収入が著しく減少した場合に該当し、必要があると思えた場合保険料を減免すると定めている。

**質問** 減免された実績、人数については

**答弁** 平成17年9月の台風14号の被害者で、15名です。

**質問** 減免の実績は法定減免だけです

全国では独自減免制度を実施している自治体もある。本市でも独自減免制度が必要ではないか。さかのぼって払いたくても払い込むことが出来ない。こういう高齢者に制裁を科すことは、介護保険制度の欠陥で、国に改善を求めていることが必要だと考えるが、市長の見解は？

**答弁** 一定程度低所得者への配慮は出来ていると認

識しているが、年金が年間18万円以下の方が毎月介護保険料を払い、電気、ガス、水道料を払うと生活が出来ないというのも現実だ。この事については勉強し検討していく必要があるのではないかと考える。



## 入学準備金の申請もれがないように

**質問** 申請に間に合わず、3月支給されなかった家庭への対応はどうするのか

**答弁** どこかで締め切りを設けないといけない。必要な時期に支給するように制度改正をした。新しい制度なので周知については相当意識して実施してきた。

**質問** 3月支給が間に合わなかった人が、4月当初の

就学援助の認定がされた場合は学用品費として支給する自治体もある。そういう自治体の事は知っているか

**答弁** 現行の新入学児童生徒学用品費を前渡ししている自治体や、暫定認定で支給し、あらためて本申請をする自治体など、制度設計は各自自治体の裁量で決めている。

**質問** 就学援助制度の趣旨からいっても、必要としている世帯に対して洩れる事のないように手厚く援助する必要があるが、今後検討改善する必要があるのではないか

**答弁** いろいろな状況を検討しながら、より良い制度にしたらいのではないのか。勉強してみたい。





西尾  
祐佐議員



## 保育行政と農業振興について

### 保育行政について

**質問** 現在の0歳児の待機児童の人数は

**答弁** 平成29年度、現在（3月）の待機児童数は48人です。

**質問** 待機児童数が多いと思うが、その対応、今後の対策について問う

**答弁** 当面の対応は預けられなかった保護者への支援を充実させていく。例えばファミリーサポートセンターの設置や一時預かり事業など、保護者の負担を軽減する事業を検討していく。

また、根本的な解決は施設数や保育士不足の解消だが、少子化が進行中なので慎重に考えていく。

**質問** 希望する保育施設への入所が叶わなかった児童の数は

**答弁** 第一希望の保育施設へ入所できなかった人数は42人です。

**質問** この人数も多いと思うが、原因をどのように認識しているか

**答弁** 30年度は一歳児の申し込みが多かった。近年、共働きの世帯が増え、低年齢児の入所希望の増加が主な原因と考える。

**質問** 1歳児に関して、土曜日の午後の保育がある所が限られている（三施設）ので、もう少し増やせば解決につながらないか

**答弁** 緩和策にはなるかもしれないが、根本的な解決にはならないと考える。

**質問** 結局、根本的な解決としては施設の改築、新築になると思う。そこでJ・T跡地の保育所建設のスケジュールについて問う

**答弁** 32年度までに様々な検討事項の調整を済ませ、早ければ33年度の開設を検討している。

**質問** スピード感が感じられないが、もっと早く開設はできないか

**答弁** 行政改革推進計画に位置付けられた年度に沿って進めていく。

**質問** 問題解決を考えると、新築や施設の規模拡大を考えているような意欲的な民間保育所があれば、しっかりとバックアップしていくことも考えるべきだと思うがどうか

**答弁** 市でできることは可能な限りバックアップしていく。

### 農業振興について

**質問** 圃場整備事業についての市長の見解は

**答弁** 圃場整備は農業振興のためにも重要であると考えている。予算の関係もあるが、やる気がある地域があれば随時進めていく。



入田圃場整備の様子

**答弁** 農地中間管理機構を紹介しての事業であり、様々な採択要件があるものの、四万十市の地域でも可能と考える。

**質問** 高知新聞に書かれていた、受益者負担がなく、土地改良区の設立も不要という北川モデルでの圃場整備は四万十市では可能か

**答弁** 様々な支援に努めていくが、県営の水田区画整理についての事務処理は各々の土地改良区でお願いしたい。

**質問** 圃場整備をするに当たり、土地改良区の事務費の負担を軽減することが促進につながると考える。市で事務作業ができないか



# 学校統合について 病児・病後児保育について

## 学校統合について

**質問** この学校統合と言う問題は現在本市の教育行政の中でもっとも注目される事案である。

今後地区の意見などを聞いて教育委員会に持ち帰って統合するかどうか検討をするのか、もしくは再編検討委員会の出した答申に従い統合ありきの話なのか。

また、保護者の出席状況はどうなっているか。何カ所地区説明会をやり、保護者は何人出席したのか

**答弁** 今回の一巡目の説明会については、検討委員会の答申に基づいて、教育委員会で策定をした再編計画（案）を周知することを目的に、実施をした。一巡目の説明会を終えて、説明会で出た様々な意見を教育委員会内で協議して今後の二巡目以降の説明会の中で説明や回答をしていく。

保護者が行き慣れている

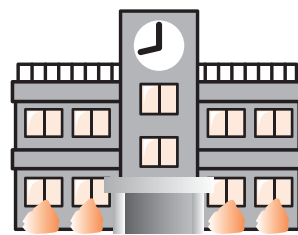
る小学校を会場にして、13校区で実施をし、保護者は127名参加して頂いた。最低でも三巡は、説明会を開いていく。

**質問** 再編計画の判断基準はどの様に決まっていくのか、保護者にしっかりと浸透してから決めるべきではないか、検討委員会の付帯意見にも反している。アンケートの結果は統合の可否の決定にどの様に反映されるのか

**答弁** アンケートについては、小学生全保護者を対象に配布・実施をしていきたい。三巡目迄の説明会の中での意見や保護者アンケートの結果等を参考に、地域住民からも一定の理解を得られるか、ここが大事な判断材料になってくる。

**質問** 学校統合に際しての保護者の負担はどの様なものが考えられるか

**答弁** 通学距離が伸びる事による負担等がある、経済的な負担は、例えば制服等が考えられるが、保護者には経済的負担を出来るだけかけないように考えている。



## 病児・病後児保育について

**質問** 本市でも子育て支援課を新たに新設するなど子育てに対してより一層取り組んでいくなかで病児・病後児保育に対しての必要性をどの様にとらえているか。

**答弁** 子供子育て支援事業計画の中でも、病児・病後児保育のニーズが出ている。しかし実際運用するに

あたっては、様々な要件がある、計画の中では施設面に加え医療機関との連携も必要なことから、愛育園ともみじ保育所の統合先のJ.T跡地は、医療機関から近いこともあり医療機関の協力が得られれば整備計画の中に入れるかどうか検討していく。





## 「住民と議会との懇談会」のご意見と執行部からの回答

昨年11月に開催いたしました、「住民と議会との懇談会」の中で出されたご意見に対しての執行部からの回答を掲載します。(抜粋) ※【 】は開催場所

### 【かわらっこ】

○島の宮に簡易水道がなく、雨が降ったら濁る。

【回答】三里地区の水道は、中山間地域生活支援事業を活用し整備済。対岸にある島の宮地区への水道整備は、補助採択の可能性等について検討します。(上下水道課)

○学校統合の条件として迂回路の整備があったのに整備されていない。

【回答】平成14年に、当該道路の環境整備について、道路管理者である建設課(当時)に申し入れており、現在のまちづくり課においても当該道路の重要性を認識し、継続的な整備を進めてきています。

学校再編に係る地区説明会でも、当該道路の整備についての意見をいただいたことから、あらためてまちづくり課と今後の整備方針等の協議を行いました。

まちづくり課としても限られた予算の中で、地区と協議の上で整備箇所を選定し整備を進めていくということですので、教育委員会としても整備の進捗状況等の情報共有に努めてまいります。(学校教育課)

### 【四万十市役所】

○日本たばこ産業の跡地を市が購入して保育所の建設を予定しているが、工事が進んでいない。

【回答】愛育園ともみじ保育所の統合後の保育施設を考えています。保育所の運営(公営、民営)の検証も必要であるが、早急に取り組んでいきます。(福祉事務所)

○側溝の一斉清掃のとき住民の高齢化等で側溝の蓋をあげるのも困難。

【回答】連絡をいただければ職員等で、地区の人と一緒に蓋あげのお手伝いをしていきたいと考えています。市街地全域での取組のため、蓋上げは市も協力するが側溝の土砂上げについては、地域参加をお願いする。(まちづくり課)

### 【下田地区防災活動拠点施設】

○光ケーブル回線の設置について。

【回答】超高速ブロードバンドにつきましては、市としても生活インフラとして重要な位置づけになってきていることは認識しております。

民間事業者に対しまして整備要請と協議を行っておりますが、携帯電波(LTE)によるネット利用の普及による固定回線の需要の減少や採算性の問題から参入してもらえないのが現状です。

また、公設につきましては、整備費用が1地区につき億単位の費用がかかると想定され、市単独での整備は難しいことから、国・県の財政支援の拡充を要望しながら、整備の可能性を探っているところです。(企画広報課)

○下田小の体育館が建て替えられて喜んだが、学校統合の話が進んでいる。体育館の建て替えの議論をしているころにはすでに統合の話もあったのではないか。どういう経過で体育館を建て替えることになったのか。

【回答】校舎・体育館の耐震改修は、現在まさに在校している児童・生徒の安全の確保及び発災時に防災拠点の役割を果たすために、市内全小中学校を対象に計画的に整備してきたものです。また、国からも早急な整備を求められてきており(年限は「平成27年度までのできるだけ早い時期」)、学校再編の有無にかかわらず、必要なものであります。

なお、本市では本年度の大用中学校体育館の改築により、市内全小中学校の校舎・体育館の耐震改修が完了したところです。(学校教育課)

### 【西富山活性化センター】

○地籍調査の現況は。

【回答】平成29年度は予算106,100千円、面積4地区5.41km<sup>2</sup>を調査。当初予算で1億円を超える自治体は当市含め3市町で、県下トップレベルの実施配分です。

今後は引き続き公共事業促進、南海トラフ地震対策、中山間地域を主眼に置き、鋭意調査を実施していきます。(まちづくり課)

### ○小動物用の捕獲檻に対する補助を考えては。

【回答】本課が事務局を務めております四万十市有害鳥獣被害対策協議会が窓口として取り組んでいる国交付金を活用した鳥獣被害対策の中で、小型捕獲檻を購入し各地区に貸し出すことが可能です。数に限りはありますが、平成30年度から当面はこの制度を活用し可能な限り要望にお応えしてまいりたいと考えております。(農林水産課)

### 【西土佐総合支所】

#### ○道の駅の浄化槽の臭いが酷い。

【回答】浄化槽の臭気については、近隣の住人から改善するよう提言をいただいております。昨年度は臭気を外に逃がす「臭突」を高くする対策を講じましたが、あまり効果が表れず住民の方々にはご迷惑をかけておりました。そこで、専門業者と協議を重ね11月末に強制的に臭いを吸い上げるファンを設置しております。住民からは臭いは軽減されているとの声も聴かれており、一定の効果があったものと考えております。(産業建設課)

#### ○特老(※)に入所している方は西土佐診療所で治療できない。医師が一人のために小学生以下や夜間、土日祝も診察してくれない。

【回答】平成28年4月から常勤医師1名体制になり、地域住民には大変心配をおかけしています。研修制度や専門医制度等により、過疎の小規模医療機関への医師招聘は大変難しい状況です。平成29年度は、医師招聘の専門サイトへの広告料を予算化し、呼びかけを行いました。応募がなく2人体制に至っていません。

ただし、平成31年4月から新しい医師が赴任してくれる目途が立ち、引き続き2人目も募集していきます。

また特老(※)は、現在配置医師が中村地域の病院になっており、配置医師でない西土佐診療所の医師は、原則として施設に入所している患者の診療を行ってはならないとされています。

ただし、緊急または患者の疾病が、当該配置医師の専門外にわたり特に療養を必要とする場合は除かれるとあるので、当診療所でも緊急時の命に係る場合には対応します。(西土佐診療所)

※特老＝特別養護老人ホーム

### 【JA高知はた西部出張所】

#### ○防災無線が聞こえにくい地区がある。(他の地区でも同様の意見あり。)

【回答】現在、こうした難聴地区解消に向けた対策を検討しているところです。

本年度は屋外拡声子局の増設についても検討を進めてきましたが、子局の増設により市内全域でのカバー率を80%まで引き上げるだけでも、なお60基の子局増設が必要で、約4億7千万もの事業費となることが分かってきました。

このため、今後は、子局増設だけではなく、他の通信手段(戸別受信機、タブレット端末等)との組み合わせ等も含め、より効果的なシステムを検証していくこととしています。(地震防災課)

#### ○現在、四万十市の子どもの不登校の実態はどのようになっているのか

【回答】平成28年度の市内の小中学校で不登校を理由とした年間30日以上欠席者は、小学校で5名、中学校で37名です。平成27年度は、小学校で8名、中学校で39名でしたので、若干の減少となっています。これは、学校や教育支援センター(ふれあい学級)での対応やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど外部の専門家の活用などにより登校へ導いた児童生徒もいる中、新たな不登校が生じていることによるものです。

平成28年度の数値を発生率で見ると、小学校が0.31%(全国0.48%)と、全国より低い値ですが、中学校は4.86%(全国3.01%)と、ここ数年、全国より高い値が続いています。四万十市では、このことを全小中学校における課題であると考え、取組を進めています。(学校教育課)

### 【JA高知はた北部出張所】

#### ○防災無線が放送しても聞こえない。家にある固定電話を利用できないか。

【回答】田野川甲、乙、口鴨川についても若藤と同様に地区有線放送と連動させるための改修工事を行っています。



固定電話との連動は出来ませんが、地区有線放送との連動により、雨天時等でも一定の効果が期待できるものと考えています。

また、議員より、有岡のＩＰ告知と、佐田のファックスによる情報伝達が紹介されていますが、まずＩＰ告知については、既に防災行政無線と連動させ運用を行っているところです。

次に、佐田地区のファックスを利用したのですが、これは市と連動したものではなく、佐田地区独自で運用されているものと思われます。今後は、このような各地区で独自に取り組んでいる情報伝達手段についても、調査を実施し、参考になるものについては他地区へ紹介するなど、積極的に取り組んで参ります。(地震防災課)

#### ○課長等担当が変わると情報伝達等の引き継ぎができていない。

【回答】各所管の業務については、複数の職員で情報共有し、速やかな対応をとれるよう引き続き指導していきたいと考えております。

なお、住民対応についても、住民目線に立った親切・丁寧な対応を心掛けるよう併せて指導していきます。(総務課)

#### 【ＪＡ高知はた東部出張所】

○岡本橋は車の行き違いができない。通学路にもなっているのに、非常に古くなっている。

【回答】今後、急速に橋の老朽化が進むことから、修繕や架け替えにかかる費用が大きな財政負担になることが予想されております。このため、本市では、このような将来を見据え、橋梁を合理的かつ効率的に維持管理を行いコスト縮減に取り組むことを目的とし、平成26年度から５年毎の点検・調査をスタートさせております。市としましては、この岡本橋を含めた全ての橋、特に老朽化している橋や損傷の著しい橋などについて、緊急度、重要度、利用実態、損傷状況等を踏まえ、その対応策の検討を行う必要があると考えていますので、事業の実施時期については、全ての点検が完了する平成30年度以降に検討して行きたいと考えております。

また、この岡本橋の架け替えには、国道439号と後川が影響することから、両管理者である県との協議も必要になります。(まちづくり課)

#### ○伊方原発について、市として再稼働しないよう申し入れはしないのか。

【回答】市として申し入れは行っていない。

本市(西土佐地域)は、伊方原発から、最も近い県境(奥屋内)で約45キロと、UPZ(国が緊急防護措置を準備する必要があると定める30<sup>キロ</sup>圏)の外であり、重点区域外であるため、法的には原子力災害避難計画の策定義務はありません。

しかし、万が一の事故に備えた避難計画を定めるよう取り組みを進め、今日まで県、梶原町、関係課等と協議を重ね、H28.6月計画を策定しました。(地震防災課)

#### 【富山地区集会所】

○大用地区にも防犯カメラをつけてほしい。

【回答】市で設置している防犯カメラは、平成29年度で8箇所の設置となります。設置した全ての防犯カメラは高知県警察本部の補助対象である、子どもの通学路、遊び場所等の安全を確保する目的の「子ども見守りカメラ」として補助を受けており、一般的な街頭カメラは設置していません。子ども見守りカメラの当面の設置計画では10箇所を予定しており、中村警察署や補導センターとの意見等を基に、問題等が多く事件の発生等が懸念されている場所を優先に順次設置しています。10箇所設置後については未定ですが、新設が可能な場合は、これまでと同様に設置箇所を決める予定です。

なお、県補助金の対象事業には、「街灯防犯カメラ設置」、「子ども見守りカメラ設置」の2事業があり、補助対象者としての要件を満たせば、自治会、PTA等の団体も申請できますので、地区で防犯カメラの設置、管理を検討される場合は、高知県警察本部生活安全企画課へのご相談をお願いします。(環境生活課)

○レントゲン検診を1ヶ所でするようになった。以前のように2ヶ所を実施してほしい。

【回答】検診車両の大型化により大屋敷方面への車両乗入れができない状況です。地区要望を受けて大屋敷～常六～三ツ又地区受診者のため、近隣会場(片魚)までの送迎バスを運行しており、今後も便宜を図っていきます。(保健介護課)

**【大宮生活改善センター】**

○大宮産業にも地域おこし協力隊を配属してほしい。協力隊が来てくれるように環境づくりをしてほしい。

【回答】大宮地域に配属の地域おこし協力隊については、再度募集を行い、選考の結果4月1日から着任する運びとなりました。

協力隊募集については、近年募集を行うも応募者がいない厳しい状況が続いていることから、待遇面や着任後のフォローも含め協力隊を希望する人に魅力的な環境づくりに努めていきます。特に協力隊、配属された地域、行政とのコミュニケーションの場を設けることを重点的に行っていきます。(地域企画課)

○災害の情報を聞き逃すことが多い。1時間ぐらいいは情報を流してもらいたい。集会所を避難所として開設した際、IP告知端末が聞こえない。

【回答】災害時の情報(台風時の水位の情報)については、刻々と変わる状況を、住民の方々に迅速に周知する必要があることから、同様の内容を長時間流すことは望ましくないものと考えます。

なお、聞き逃した放送については、各家々の告知端末で再生することが可能です。

※再生回数に制限はありますが、告知端末の要件ボタンを押せば聞き逃した放送を聞くことが可能です。

大宮(上)集会所のIP告知端末については、修繕対応させていただきました。(地震防災課)

**【有岡老人憩の家】**

○国道56号線の有岡の信号を起点に横瀬方面の道路に歩道がない。ダム工事で大型車も頻繁に通行し、また、通学路にもなっている。道路の拡幅、歩道の設置を要望する。

【回答】県道有岡川登線のため、県の管轄となることから市からも実情をお伝えします。(まちづくり課)

○溶融炉を作った時に橋を直すと言っていたがいつになるのか。

【回答】上ノ土居橋は、昭和41年に架設され50年が経過しており、架け替えが澤田前々市長との約束事項であったとのことですが、クリーンセンター建設に伴う条件整備を重点に取組を行ってきたことから、架け替えにつきましては、整備事項ではなかったため、未整備のまま現在に至っております。

市としても幡多クリーンセンターが竣工して以来、九樹橋の架け替えなど、地域における道路利便性の向上を図っている中で、一昨年の台風16号においては、中筋川水位が計画高水位を超え橋の桁下に水面があたる状況に陥り、市道の通行止めを余儀なくされました。このことから土居大橋架け替えの緊急度、重要度がさらに増していると認識しています。

しかしながら、現在、点検・調査を行っており、今後、この土居大橋を含めた全ての橋について、特に老朽化している橋や損傷の著しい橋などについて、緊急度、重要度、利用実態、損傷状況等を踏まえ、「架け替えの実施」の検討を行う必要があると考えています。したがって、実施時期については、全ての点検が完了する平成30年度以降に当該橋梁を含めて検討して行きたいと考えております。(まちづくり課)

**【南津地区サテライト】**

○災害などで四万十川にゴミが集積されており、船を使って川掃除を行った。他の地区で行っているところはないか。財源があれば川と触れ合える対策をしてほしい。

【回答】船を使った清掃活動は確認していない。四万十川財団では、ボランティアで取り切れなかったごみを取り除く活動をしているので、大水の時のごみを野焼きしたり下流へ流すことのないよう、四万十川の環境保全にご協力をお願いします。

川と触れ合える対策としては、子どもたちに対し、水辺での環境学習や川漁体験など、川と触れ合う事業を実施しています。(環境生活課)



○地域おこし協力隊の導入のメリットは。

【回答】

- ①外からの視点で課題を捉えることや、普段気づかない地域資源発掘など、新しい発見や発想が期待できる。
- ②地域の課題解決等に向けて、協力隊と住民自らが試行錯誤し取り組むことで地域力が高まり、地域や団体の自立につながる。
- ③協力隊の任期終了後、地域に定住することで、活動で培った経験やスキルを持った新しい地域の担い手として、長年に渡り地域活動への貢献が期待できる。(地域企画課)

#### 【具同田黒集会所】

○自由ヶ丘線の分岐点が冠水する。改修してほしい。改修済という回答をもらったが、なおっていない。

【回答】団地の造成もあり、流域区域が現在設置している側溝での修繕で対応できるのか、改良が必要なのか調査検討して、対応していきたい。(まちづくり課)

○具同小学校周辺の側溝工事がまだ終わっていない。早くしてほしい。

【回答】平成28年度より整備を進めています。29年度末で、約93m整備を行っています。残りの約75m間について、早期完成を目指し取組んで行きたい。(まちづくり課)

田黒1区からも学校周辺の舗装要望をいただいています。年度の施工優先順位を決めて対応したい。

また、地区からの要望で、グラウンド西側消防屯所前を平成30年度に舗装補修を予定しています。区長、教育委員会(具同小)とも話し合い整備していきたいと考えています。(まちづくり課)

#### 【間崎多目的集会所】

○大文字の看板や初崎の一宮神社の看板を改修してほしい。

【回答】市の設置した看板であれば、改修等、何らかの手だてを検討したいと思いますが、県など他機関が設置した看板である可能性もあるため、確認を行います。結果、他団体での設置であった場合、要望事項はお伝えします。(観光商工課)

○津波避難タワーの定期点検をしてほしい。

【回答】津波避難タワーの管理については、初崎地区防災会と覚書きを交わしており、日常的な管理、清掃、草刈、またタワーの監視等は地区へお願いし、その他の維持管理に伴う経費や、修繕については市の負担と、定めているところです。

地区の意見にあります定期点検についてですが、ご指摘のとおり、タワー建設(平成21年度)からおよそ10年を経過する時期になっており、塩害による腐食等、メンテナンスも含めた対応が必要になると考えます。よって、今後は、定期的な、例えば地区の防災訓練時期に合わすなどして、近接目視により確認、点検を実施していくこととします。

次に反射鏡(避難看板、照明)についてですが、これまでも、地区からの指摘により、照明の点灯不良など、修繕を行っております。

今後も日常の維持管理の中で、何かあれば連絡頂きたいと思います。(地震防災課)

#### 【古津賀ふれあい会館】

○災害指定地区(八宗田川上流)があり、少しの雨でも冠水する。

【回答】改めて区長に確認したところ、当該箇所<sup>しゅんせつ</sup>の浚渫が完了しているとの確認をしたところです。(まちづくり課)

○避難所に泊まったら、具合が悪くなった人がいた。高齢者が多く、トイレに行くにも雨にぬれる状態。和室で空調があるようなところを開放してほしい。

【回答】幡多農業高校は県有施設であり、現在は体育館のみ避難所として使用できるスペースとして使用の許可を受けています。同校を対象とした避難所運営マニュアルの作成に向けた検討を、平成30年度に行う予定としており、その中で地域、学校と共に体育館以外のスペースの活用必要性やそうすることによる影響などについても検討を行っていく予定としております。(地震防災課)

## 新正副議長ごあいさつ



宮崎 努議長

市民の皆様には、日頃の議会活動に対して格別なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

4年前の議会基本条例制定を皮切りに、議会だよりの見直し、フェイスブックの活用、議員倫理条例の制定等、議会改革に取り組んで参りましたが、市民の皆様の考える、そしてあるべき議会像にもっと近づけていける様、努力して参ります。「住民と議会との懇談会」も開催しておりますが、それに加え、市民の皆様が各々活動されている団体やグループとの対話を進める事を考えております。その中で、教育、防災、農業、商業、観光、医療等々、目的を持って活動されている皆様とどう向き合って、どう関わっていけるのかを模索して参りたいと思います。

市政と議会とはよく車の両輪に例えられますが、市が先走るときにはブレーキに、元気がなければエンジンにと、多用な働きが議会に求められているのではないかと思います。その為に政策提言、条例制定、予算修正等、議会が持つ力に磨きをかける必要があります、それにより執行部と緊張感を持って切磋琢磨し、活発な議会を目指せると思っています。

第8代目正副議長の責任の重さを自覚し、市民の皆様との対話、それを提言に繋げていける様努めて参りますので、市民の皆様のより一層のご指導ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。



安岡 明副議長

## 募集!!

議会との懇談会、意見交換会を共に企画して頂ける、団体、グループ、同好会等々を募集します。テーマは医療、子育て、経済、何でもOK！懇親会付でもOK！まずは事務局にお電話ください。日程調整、会の進め方等ご相談させていただきます。

※国際問題や宇宙、人類の起源等の問題やご近所トラブル等の個別の問題は場合によってはお受けできない場合がございますのでご了承下さい。

## 編集後記

6月に入ると安並水車の紫陽花も見頃になってきます。梅雨入り前のこの季節、気温や湿度の差が大きいので体調管理にお気をつけください。さて、4月の市議会議員選挙により、20名が選出され、新たに組織改編がなされました。議長、副議長を始め、各委員長のものと引き続いて市政発展に頑張るつもりです。広報広聴委員会も4人の新議員が委員になっており、新たな意見を取り入れ、日々の議員活動や取組みの情報発信、そして皆様の声をしっかりと聴く取組みをし、もっと身近に感じられる議会を目指して委員会活動をしていくよう努めて参ります。身近な議会になるように議会活動に對しましての御意見、ご協力の程、よろしくお願ひします。

### 広報広聴委員会

委員長  
副委員長  
委員

〃 〃 〃 〃 〃 〃

廣上 松平 小山 西尾  
瀬岡 渕浦 西野 出下  
正 真誠 友 徳幸 祐  
明 一司 伸亮 正彦 子佐

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827  
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は6月11日からの予定です。傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は議会専用ホームページ（<http://city.shimanto.gsl-service.net/>）で閲覧できます。

※平成30年3月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は6月中旬の予定です。

**[Ustreamによる議会ライブ中継は…]**

URL:<http://www.ustream.tv/channel/shimantoshigikai>

**[You Tubeによる録画映像配信は…]**

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

**[市議会のフェイスブックは…]**

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

**[市議会のホームページは…]**

URL:<http://city.shimanto.gsl-service.net/>

**[市議会のLINEは…]**

LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』